

新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保事業の実施について

1 目的

新型コロナウイルス感染症の拡大に対処し、区民の安心・安全を確保するため、ワクチンの予防接種の実施体制を整備する。

2 国、都道府県、区市町村の役割

(1) 国

ワクチンの確保、費用の負担、接種順位の決定、ワクチンに係る科学的知見の情報提供、健康被害救済に係る認定等

(2) 都道府県

地域卸売業者との調整（ワクチン流通等）、優先的な接種の対象となる医療従事者等への接種体制の整備、専門的相談対応等

(3) 区市町村

医療機関との委託契約及び接種費用の支払い、住民への個別通知（接種券等）、接種手続等に関する一般的相談対応、集団接種を行う場合の会場確保等、健康被害救済申請受付・給付等

3 ワクチンについて

①想定されるワクチンは、現時点で3種類。（別紙のとおり）

②国・都が割り当てた区の供給分を、区が各接種会場に割り当て調整する。

③最速の供給が見込まれるファイザー社製ワクチンは、超低温での管理が必要なことから、国が一括購入した冷凍庫を区市町村の人口規模に応じて割り当て、無償贈与される。

（板橋区には6月までに、35台が割り当てられる予定）

4 接種場所について

原則、住民票登録地の区市町村で接種を受けるが、長期間入院又は入所している者等、やむを得ない事情がある場合には、住民登録地以外の区市町村で接種を受けることができる。

5 接種の順位及び開始時期の見込み

(1) 接種順位

No.	対象者	対象人数	通知の発送等	接種開始
1	医療従事者向け先行接種	約 15,000 人	国が調整	2月下旬
2	医療従事者向け優先接種		都が調整。事前に提携した協力医療機関で接種	3月上旬
3	高齢者（65歳以上）	約 133,000 人	3月中旬以降	4月以降
4	20歳～64歳（※1）	約 356,000 人	4月中	未定
5	16歳～19歳（※2）	約 17,000 人	未定	未定

※1 ①基礎疾患を有する者 ②高齢者施設等従事者 ③60～64歳の者の順に優先して接種予定

※2 国が示す接種の対象年齢は、当面16歳以上とする方向である見込み

○優先接種となる医療従事者の範囲

病院や診療所において、新型コロナウイルス感染症患者や感染が疑われる患者に頻繁に接する機会のある医師やその他職員。診療科や職種は限定しないほか、訪問看護ステーションや介護医療院の従事者も、病院に準じて対象に含まれる。

(2) 接種希望者の見込み（高齢者）

○令和2年度高齢者インフルエンザ予防接種の実績(10～12月) 72,000人(約54%)
⇒高齢者全体の7割程度が希望すると想定

$$133,000 \times 70\% = \underline{93,100 \text{ 人}} \text{ (約70\%)}$$

6 区における接種体制について（高齢者）

(1) 接種体制の想定

接種開始から2カ月程度で93,100人×2回=186,200回の接種を実施するべく準備を進める。
(今回のワクチンは2回接種が必要となるため)

(2) 集団接種

①区施設

健康福祉センターを含む複数の施設で実施予定。1日当たり100～200件程度の接種を想定。実際の接種は医師会に委託するため、1日毎の派遣可能人数などについて協議を重ね、4月初旬から8週間程度の体制を構築する。

板橋(旧板橋第九小学校)・常盤台(旧中央図書館)・赤塚(赤塚健康福祉センター)・志村(志村健康福祉センター)・高島平(高島平区民館)の各地域に1カ所ずつ会場を整備するべく、調整を進める。

②区内医療機関

災害拠点病院や2次医療機関等に、1日100名以上の大規模接種への協力を打診中。

(3) 個別接種（診療所等）

各医療機関については意向調査により予防接種への協力を募るとともに、施設ごとの接種可能件数を把握し、区全体で接種体制を構築する。

(4) 高齢者施設

下記の施設入所者については、原則として個別の施設毎の接種希望者を把握し、ワクチンを当該施設もしくは嘱託医の所属医療機関等へ配送し、各施設で接種してもらう。

	施設数	定員	入所者数	
			合計	区民内数
1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	18	2,013	1,958	1,633
2. 介護老人保健施設	9	1,171	1,096	680
3. 介護療養型医療施設・介護医療院	5	325	325	
4. 特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム、ケアハウス）	47	2,980	2,422	
5. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	27	522	475	
6. 都市型軽費老人ホーム	7	115	115	
7. サービス付き高齢者向け住宅	25	1,040	899	
合計	138	8,166	7,290	

※3, 6, の入所者数については定員数で計上

(5) 在宅患者等

在宅で訪問診療を利用している方については、板橋区医師会在宅医療センターを通じて、予防接種の対象となる方のリスト作成を依頼している。実施医療機関ごとの接種希望者を把握し、個別にワクチンを配送する。

7 相談・予約体制

今回のコロナワクチンの予防接種は、原則として事前予約制となる。

(1) コールセンターの設置（令和3年3月1日～）

業務内容

① コロナワクチンの予防接種に関する一般的な相談への対応

② 区施設会場等の予防接種の予約受付（個別通知の発送と併せて開始）

※ 運営は事業者へ委託し、最大60ブースを設置する予定。

※ 問い合わせの殺到に備えるため、職員による応援体制も整備する予定。

事業者の回線がふさがった際は自動的に、区のセンターに転送される仕組みを構築する。

(2) 接種の予約方法

① 区施設会場

・ コールセンターに電話連絡（係員が予約システムへ入力）

・ インターネット上の区予約システム（委託業者により新たに構築）で予約

② 病院会場

・ 各医療機関の予約方法に従い予約（電話等）

(3) 周知方法

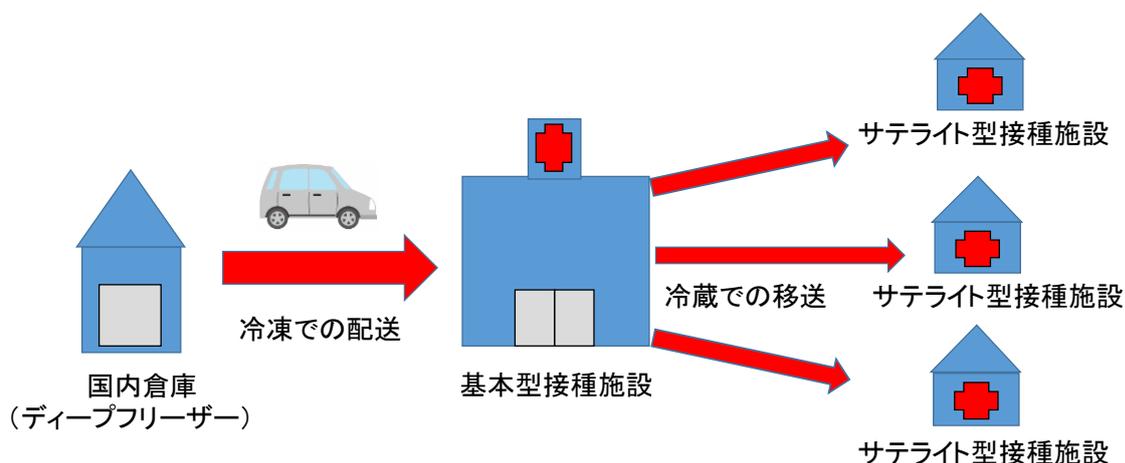
2月1日にホームページを開設、個別通知の発送（3月中旬以降）、

広報いたばし（3月中～下旬に臨時号を発行）、ポスター掲示等

8 ワクチンの供給体制等について

ファイザー社のワクチンは一回の配送単位が大きく（約1,100回接種分）、超低温の保管を要するため、国から供与される超低温冷凍庫を設置した医療機関（**基本型施設**）での保管が原則となる。

その他の医療機関でも接種できるよう、医療機関のグループを構成し、基本型施設から定期的に冷蔵移送し、ワクチンの有効期間内に接種していく（**サテライト型施設**）。



新型コロナワクチンの特性（現時点での想定）

※薬事承認前であり、
全て予定の情報です。

	ファイザー社	アストラゼネカ社	武田／モデルナ社
規模	1.44億回分 (7千2百万人×2回接種)	1.2億回分 (2回接種が想定されており、その場合 6千万人分に相当)	5千万回分 (2千5百万人×2回接種)
接種回数	2回(21日間隔)	2回(28日間隔)	2回(28日間隔)
保管温度	-75°C±15°C	2～8°C	-20°C±5°C
1バイアルの単位	6回分/バイアル	10回分/バイアル	10回分/バイアル
最小流通単位 (一度に接種会場に配送される最小の数量)	195バイアル (1170回接種分)	10バイアル(100回接種分) ※供給当初300万バイアル分 2バイアル(20回接種分) ※残り900万バイアル分	10バイアル (100回接種分)
バイアル開封後の保存条件 (温度、保存可能な期間)	(室温で融解後、接種前に生理食塩液で希釈) 希釈後、室温で6時間	(一度針をさしたもので降) 室温で6時間 2～8°Cで48時間 希釈不要	(一度針をさしたもので降) 2～25°Cで6時間(解凍後の再凍結は不可) 希釈不要
備考	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関では、ドライアイス又は超低温冷凍庫で保管 ※医療機関でのドライアイス保管は10日程度が限度 →10日で1170回の接種が必要 ※最大5日間追加での冷蔵保管可(2～8°C) 		<ul style="list-style-type: none"> 医療機関では、冷凍庫で保管(-20°C±5°C)